

課題解決型高度医療人材養成プログラム 事業の概要と推進委員会からの主なコメント

〔取組1〕医師・歯科医師を対象とした事業
 (1) 横断的な診療力とマネジメント力の両方を兼ね備えた医師養成
 テーマ：病院経営支援に関する領域

	整理番号
	1
申請担当大学名 (連携大学名)	北海道大学
事業名	病院経営アドミニストレーター育成拠点
事業責任者	大学院保健科学研究院教授 小笠原 克彦
事業の概要	
<p>本学が研究活動で築いてきた病院や企業、自治体、他大学とのネットワークを教育基盤として活用し、病院経営においてリーダーシップをとる高度人材育成プログラムを構築する。本学は、病院経営に関する理論と実践を体系的に教育する拠点として機能する。本事業による人材は以下の組織に輩出する想定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院経営部門 ・ 医師等臨床スタッフ ・ 関連企業や行政機関 <p>本事業を履修した病院経営部門、および臨床スタッフは、長期的戦略に基づいた病院経営と、経営と臨床の相互理解による経営の高付加価値化に資する人材としての役割を果たす。また、関連企業や行政機関では、病院経営の視座に基づいた産学官連携に資する人材としての役割を果たす。本事業を履修した人材が病院経営および医療連携のキーパーソンとなり、効率的かつ持続可能な病院経営を支援し、地域インフラ強化と医療費削減の双方の役割を果たす。</p>	
推進委員会からの主なコメント ○：優れた点等、●：改善を要する点等	
<p>○小樽商科大学大学院とのMBAに関する協定により、医療系有資格者のMBA取得者を継続的に輩出してきた実績に基づいた教育プログラムを作成して講義することは、教育の実効性を高めることが可能で期待できる。</p> <p>○企業との連携に加え、小樽商科大学大学院との連携により相互履修科目を取り入れ、既存の教育研究組織外からの視点が得られることは、経営人としての多角的な視点を付加する上で極めて重要な方策である。</p> <p>○e-learning を活用した遠隔授業の実施方法に具体性があり、地域医療の観点から、旭川医科大学にサテライトを設置することは教育の実効性に期待できる。</p> <p>○大学院共通科目を構築して、病院や企業に勤務する社会人を有料の科目等履修生として受け入れる開講方式は、実現性が高く期待できる。</p> <p>●病院経営支援という観点から、「管理会計」(予算管理、原価計算、損益分岐分析、事業計画など)の科目の充実を図ることが望ましい。</p> <p>●運営体制について、外部評価をより広い視点から取り入れるとともに、PDCAサイクルを活用して体制の充実を図ることが望ましい。</p>	